

牧野信一 （まきの しんいち） 小説家。明治二十九年十一月十一日（神奈川縣生れ、
 昭和十一年二月）二十四日没（六六―九三）。筆名牧野七路。大正八年
 早稻田大學文學部英文科卒。時事新報社入社。傍ら溪原三八郎、下村千
 秋等と同人誌「ウチニ入」創刊。昭和八年「文科」創刊主宰。神経衰弱
 等より疲勞困憊、溢死。

著譯書「父を賣る子」(大正十二年八月六日新潮社「新進作家叢書」)、
 「日本小説集・第二集―昭和二年版」(合著・文藝家協會編、昭和一
 年五月十一日新潮社)、「西部劇通信」(昭和五年十一月)二十一日春
 陽堂)、エドガヤ・ヤテン・ポウ著「ユリイカ」(小川和夫共譯、昭
 和十年八月十日共書房)、「鬼涙村」(昭和十一年二月)二十五日共書
 房)、「心象風景」(昭和十五年七月十八日創元社「創元選書」)、
 遺作集「南風譜」(昭和十六年八月十五日甲信書林)、「村のストア
 風博」
 派」(坂口安吾共著、昭和十四年五月)二十日麥書房「雨の自文庫・
 現代日本文学
 昭和戦前編」)等。

